

10. 体^{からだ}で一番^{いちばん}大切^{たいせつ}な所^{ところ}

母^{はは}は、私^{わたし}が小^{ちい}さい時^{とき}から何回^{なんかい}も同^{おな}じ質^{しつもん}問^{もん}をしました。「体^{からだ}の中^{なか}で一番^{いちばん}大切^{たいせつ}な所^{ところ}は、どこだ^{おも}と思う?」と。そして、私^{わたし}の答^{こた}えはいつも間^ま違^{ちが}っていました。母^{はは}は「ざんねーん」と言^いって、答^{こた}えを教^{おし}えてくれませんでした。でも、祖^そ父^ふが死^しんだ時^{とき}、答^{こた}えを教^{おし}えてくれました。

祖^そ父^ふが亡^なくなりました。お葬^{そうしき}式^{しき}の日^ひは、父^{ちち}も母^{はは}も、家^か族^{ぞく}全^{ぜん}員^{いん}が祖^そ父^ふの死^しを悲^{かな}しんで、泣^ないていました。私^{わたし}は父^{ちち}が泣^なくのを初^{はじ}めて見^みました。

もうすぐ、祖^そ父^ふに最^{さい}後^ごのお別^{わか}れを言^いわなければならない時^{とき}、母^{はは}が私^{わたし}に聞^ききました。

「ねえ。体^{からだ}の中^{なか}で一番^{いちばん}大切^{たいせつ}な所^{ところ}は、どこだ^{おも}と思う?」

私^{わたし}は「どうして今^{いま}、その質^{しつもん}問^{もん}をするの?」と思いました。

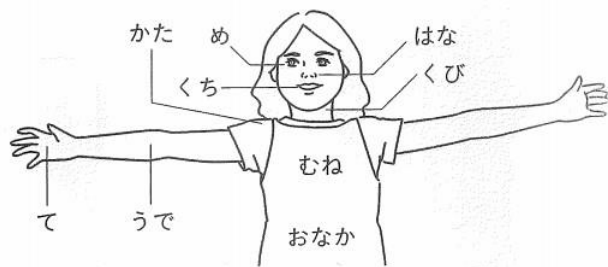
母^{はは}は私^{わたし}が小^{ちい}さい時^{とき}から、何回^{なんかい}もにその質^{しつもん}問^{もん}をしました。最^{さい}初^{しよ}にその質^{しつもん}問^{もん}をしたのは、私^{わたし}が幼^{よう}稚^ち園^{えん}にかよって通^とっていた時^{とき}でした。

「体^{からだ}の中^{なか}で一番^{いちばん}大切^{たいせつ}な所^{ところ}は、どこだ^{おも}と思う?」

「うーん、耳^{みみ}かな」

その時、私は音楽を聴くのが大好きだったので、そう答えました。

「ざんねーん。耳じゃありません。世の中には耳が聞こえない人もたくさんいるでしょう？耳が聞こえなくても豊かな人生を送ることができるわよね。も



うちょっと考えてみて。そのうち、また同じ質問をするから」と言
って、母は答えを教えてくださいませんでした。

次に覚えているのは、私が小学生の時でした。私は、母の質問の答えがずっと気になっていました。

「体の中で一番大切な所は、どこだと思う？」

「目。誰でも見えることはとても大事だから、絶対に目よ」

私は、自信を持って答えました。

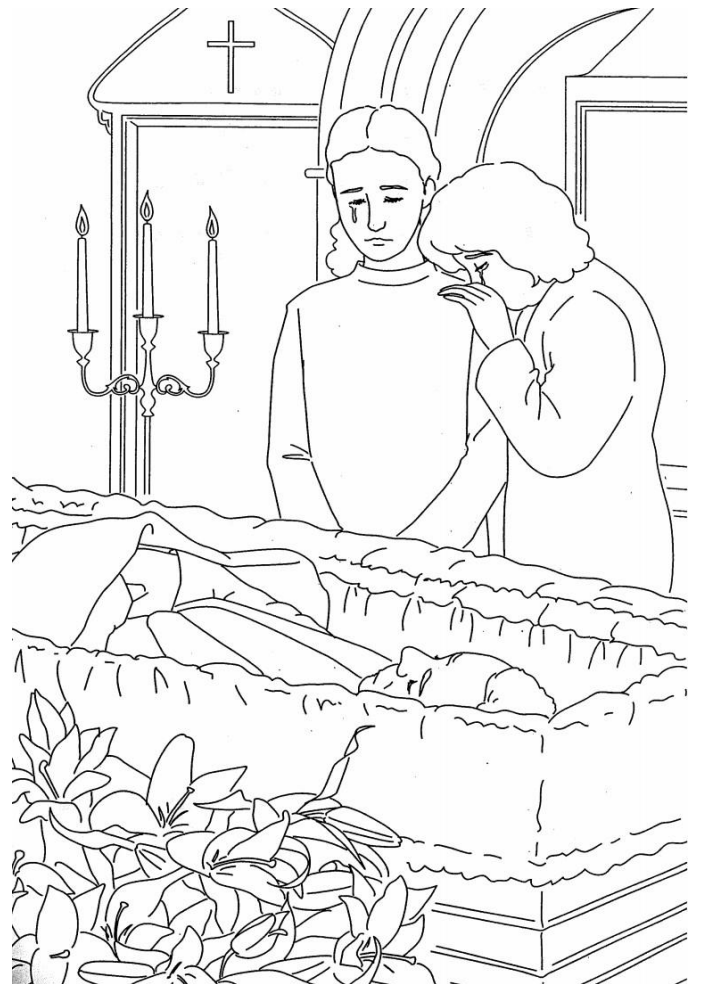
「ざんねーん。目ではありません。世の中には目が見えない人もたくさんいるでしょう？目が見えなくても豊かな生活を送ることができるわよね。もうちょっと考えてみて。そのうち、また同じ質問をするからね」

また、母は答えを教えてくださいませんでした。

その後、私が中学生になってからも、高校生になってからも、母は同じ質問をしました。しかし、私の答えに対して、母は「ごんねーん。違いまーす。でも、だんだんいい答えになってる。あなたも成長しているのね。もうちょっと考えてみて」と言って、答えを教えてくださいませんでした。

そして、祖父のお葬式の日、母はまた同じ質問をしたのです。
「ねえ、体の中で一番大切な所は、どこだと思う？」

私は「どうして今、その質問をするの？」と、ちょっとむっとしました。母がいつも同じ質問をして、私が答えて、そして母が「ごんねーん」と、ふざけた言い方をするので、母は真面目に聞いているわけではないと思っていたからです。でも、今日はそうではありませんでした。



はは い
母が言いました。

きょう こた おし
「今日は答えを教えてあげる」

はは え め なみだ
母はほほ笑みましたが、目は涙でいっぱいでした。

からだ なか いちばんたいせつ ところ かた
「体の中で一番大切な所は、肩よ」

「どうして？」

「それはね。愛する人のために泣きたいとき、肩は、頭を預ける
のにちょうどいい場所だからよ」

はは こた おし
やっと母が答えを教えてくれました。どうして祖父のお葬式の日
にその質問をしたのかも、分かりました。今日、母は、私の肩に頭
をあずけてずっと泣いているのですから。

単語リスト：

幼稚園（ようちえん）Trường mẫu giáo
音楽（おんがく）Âm nhạc
葬式（そうしき）Tang lễ
むっとする Bực bội

ふざける Chọc tức
ほほ笑む（ほほえむ）Mỉm cười
（肩に）頭を預ける（かたにあたまをあ
ずける）Dựa đầu (vào vai)